2　　亀を助けた理由　　　　　　　　　　　　　文節・単語・品詞

昔、Ⅰ丹後国に浦島といふ者侍りしに、Ⅱその子に浦島太郎と申して、年の齢二十四五の男ありけり。明け暮れ、海のａうろくづを取りて、父母をｂ養ひけるが、ある日のつれづれに、釣りをせむとて出でにけり。浦々島々、入り江入り江、至らぬ所もなく、釣りをし、貝をｃ拾ひ、みるめを刈りなどしけるところに、ｄゑしまが磯といふ所にて、亀を一つ釣り上げけり。浦島太郎この亀に言ふやう、「なむぢ、生あるものの中にも鶴は千年、亀は万年とて、命久しきものなり。たちまち、ここにて命をｅ断たむこと、ｆいたはしければ、助くるなり。常には、この恩を思ひ出だすべし」とて、この亀をもとの海に返しけり。

【本文チェック】

①　ａ～ｆを、ひらがなで現代仮名遣いに改めて書きなさい。

　ａ（　　　　　　）　　ｂ（　　　　　　）　　ｃ（　　　　　　）

　ｄ（　　　　　　）　　ｅ（　　　　　　）　　ｆ（　　　　　　）

②傍線部Ⅰ・Ⅱを文節に分け、 ｜ で区切りなさい。

　（例）　山に ｜ 走りて ｜ 行く。

　Ⅰ　丹 後 国 に 浦 島 と い ふ 者 侍 り し に

　Ⅱ　そ の 子 に 浦 島 太 郎 と 申 し て

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の読みを、現代仮名遣いで答えよ。

１　丹後国〔１〕（　　　　　　　　　　　）

２　齢〔１〕（　　　　　　）

３　男〔１〕（　　　　　　）

４　出でにけり〔３〕（　　　でにけり）

問２　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。

１　侍り〔１〕　①お仕えする

　　　　　　　　②（　　　　　　　　　　　）

２　なむぢ〔５〕（　　　　　　　　）

問３　次の傍線部の意味として、現代語訳に入る最も適当なものを選べ。

１　少将殿は、まことに心細く仰せらるるもいたはし。（住吉物語）

　　少将殿が、本当に心細げにおっしゃるのも（　　　）。

　ア　不安だ　　　イ　気の毒だ

　ウ　不思議だ　　エ　あきれたことだ

　（　　　）

２　からき命まうけて、久しく病みゐたりけり。（徒然草）

　　危ない命を助かって、（　　　）患い続けた。

　ア　悲しく　　イ　苦しく

　ウ　長く　　　エ　多く

　（　　　）

３　若かりし時、至らぬところなくをせしかば、（狭衣物語）

　　若かった頃、（　　　）ないところがないほど垣間見をしたので、

　ア　行か　　イ　心惹かれ

　ウ　知ら　　エ　呼ばれ

　（　　　）

【文法力 ✚】

問４　次の表の空欄に入る品詞名を答えよ。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単語 | | | | | | | |  |  |
| 付属語 | |  |  |  | 自立語 | | | | |
| 活用しない | 活用する |  |  | 活用  しない | | | 活用する | | |
|  |  | 主語に  ならない | | | | 主語になる  （体言） | 述語に  なる  （用言） | | |
|  |  | 修飾語に  ならない | | 修飾語に  なる | |  | 「なり」「たり」で  終わる | 「し」「じ」で  終わる | ｕ段で  終わる（ラ変は「り」で終わる） |
|  |  | 独立語に  なる | 接続語に  なる | 体言を  修飾する | 用言を  修飾する |  |
| ⑩（　　　　） | ⑨（　　　　） | ⑧（　　　　） | ⑦（　　　　） | ⑥（　　　　） | ⑤（　　　　） | ④（　　　　） | ③（　　　　） | ②（　　　　） | ①（　　　　） |

問５　次の語の品詞名を答えよ。

１　されど　　　　（　　　　　　）　　２　釣り　　（　　　　　　）

３　いたづらなり　（　　　　　　）　　４　いと　　（　　　　　　）

５　申す　　　　　（　　　　　　）　　６　いたはし（　　　　　　）

【探究】

問６　浦島太郎は、寿命の長いことを理由に釣り上げた亀を助けたが、あなたはこのことをどう評価するか。

ア　すばらしい行為だと思う。　　イ　少し疑問に思う。

ウ　全く評価できない行為だと思う。

（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ａ＝うろくず　ｂ＝やしない　ｃ＝ひろい

　　ｄ＝えしま　　ｅ＝たたん　　ｆ＝いたわしけれ

②　Ⅰ＝丹後国に ｜ 浦島と ｜ いふ ｜ 者 ｜ 侍りしに

　　Ⅱ＝その ｜ 子に ｜ 浦島太郎と ｜ 申して

問１　１＝たんごのくに　２＝よわい　３＝おのこ　４＝い

問２　１＝おります　２＝お前

問３　１＝イ　２＝ウ　３＝ア

問４　①＝動詞　　②＝形容詞　③＝形容動詞　④＝名詞　　⑤＝副詞

　　　⑥＝連体詞　⑦＝接続詞　⑧＝感動詞　　⑨＝助動詞　⑩＝助詞

問５　１＝接続詞　２＝名詞　　３＝形容動詞

　　　４＝副詞　　５＝動詞　　６＝形容詞

問６　（例）イ　生き物の命を大切にする行為は評価できるが、「寿命の長いこと」が理由なので、寿命の短い生き物からならば命を奪っても構わないのか、という疑問が残るから。

　　観点　自分が選ばなかった選択肢との違いから、理由を考えるとよい。

【現代語訳】

問３　１　少将殿が、本当に心細げにおっしゃるのも気の毒だ。

　　　２　危ない命を助かって、長く患い続けた。

　　　３　若かった頃、行かないところがないほど垣間見をしたので、